

<村山保健所からのお知らせ>

～「レジオネラ症」にご注意ください!!～

● レジオネラ症とはどんな病気？

- ・レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症で、**肺炎を引き起こし、亡くなられる方もいるため注意が必要です。**
- ・レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)を吸入することで感染します。エアロゾルは、打たせ湯、ジェットバス、ジャグジーなどで発生します。
- ・潜伏期間は2～10日です。
- ・レジオネラ症は、急激に重症になる「レジオネラ肺炎」と、数日で自然に治ることが多い「ポンティアック熱」に分けられます。**特に乳幼児や高齢者、免疫力の低下した人などがかかりやすい傾向にあります**が、人から人へは感染しません。



● レジオネラ属菌について

レジオネラ属菌は、土の中や湖沼などの自然界に生息しています。アメーバなどの原生動物に寄生し、20～50℃で増殖します。自然界では、レジオネラ属菌だけが大量に増えるということはありませんが、**追い炊き機能付き風呂や24時間風呂などの循環式浴槽、建物に設置されている冷却塔、加湿器などが衛生的な維持管理がされていない時などに繁殖します。**

● レジオネラ症の症状は？

レジオネラ肺炎は全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛、意識障害などを呈します。ポンティアック熱は突然の発熱、悪寒、筋肉痛などインフルエンザに似た症状ですが、一般的には比較的軽症で、数日で軽快します。治療には、抗生物質の投与が有効です。



● レジオネラ症の発生を防ぐために

1. つけない、増やさない

- ・**追い炊き機能付き風呂や24時間風呂(循環式浴槽)**を備え付けている場合は、浴槽内に汚れやぬめりが生じないように**定期的にブラシを使って掃除**をしましょう。特に、**ぬめりが生じやすい配管や循環口、床の隅、シャワーヘッド等は重点的に掃除**をしましょう。
- ・**浴槽水は可能であれば毎日、完全に水の入替えを行いましょう。**
- ・超音波振動などの加湿器を使用するときには、**毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。**

2. 吸い込まない

- ・公衆浴場では、エアロゾルの発生しやすい気泡発生装置、ジェット噴射装置、打たせ湯には注意しましょう。転倒した拍子に、浴槽水が肺に入って感染した事例もありますので、風呂場での転倒に気をつけると共に、乳幼児と一緒にいる場合は目を離さないようにしましょう。
- ・**特に免疫力が低下している方で、粉塵が発生する腐葉土を取扱う場合などについては、マスクを装着しましょう。**

3. 日ごろの健康維持に努めましょう

乳幼児や高齢者など抵抗力の弱い人は感染しやすいといわれています。睡眠やバランスの取れた食事に留意しましょう。また、体調の優れないときには公衆浴場の利用は控えましょう。

【参考資料】

- ・厚生労働省及び国立感染症研究所 HP
- ・レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針(平成15年7月15日厚生労働省告示第264号)

～ 御不明な点などがある場合は、下記まで連絡をお願いします ～
村山保健所 保健企画課 感染症対策室 TEL : 023-627-1105